

発刊にあたり

会長 重

光茂栄

日本台湾医師連合の会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。
常に日頃から会員の皆様の活発な意見を良く聞き、吸収して、組織の活性化を図り、広く会員相互の親睦を一層深めて行かねばならないと思っています。

この度、年頭にあたり、本連合初の“たより”を発行することになりました。“たより”は会員皆様の発言の広場として、皆様に大いに参加していただきたいと思えます。第一号は頌彦真賢理事に編集を担当して頂きました。大変有り難く感謝しています。

医師連合が成立してから一年未満、人間で例えればまだ乳児です。これからの成長に向けて一步一步の歩みを練習している状態ですが、今こそ皆様のご協力を頂き、一人一人が密かに持っているパワーを引き出して、会の運営、会のあり方、そして会の行事等に積極的に参加して頂き、約150人の会員の皆様全員が力を合わせて頑張れるように、心より祈念する次第で御座います。

今年も素晴らしい年、良い年でありますようにお祈りいたします。

(2003.1.1)

わかりやすい台医連会員の構成 (資料整理 丘哲治)

『凡事相信、凡事希望』

毛利忠

日本台湾医師連合が、2002年3月21日に発足してから、早くも半年が過ぎました。この間、いろいろな中傷や誹謗等、大変厳しい批判の言葉を耳にした事もありました。例えば「日本台湾医師連合は、殆んど仕事をしていないのではないか。どういう活動をしたのか？」といった、かなり耳が痛い言葉もありました。しかし、会員は心を一つに一致団結し、難関を乗り越えてきました。

これからも、日台の橋渡し役として、また、新しい時代に向け、次世代の相互理解と交流を深めるためと、日本の国益を考えながら、台湾が、国際社会において、立派な一員になることを目標に、頑張って参りたいと思います。

そこで、私の尊敬するアメリカの元大統領、故ジョン・F・ケネディの言葉をご紹介します。彼は勇敢で、いつも悪勢力に屈せず、自由と平和の為に闘ってきましたが、43歳でアメリカ大統領になった時、就任演説の中で、国民に向かって Ask not what your country can do for you, —ask what you can do for your country. 「国が諸君のために、何をしてくれるかを問うのではなく、諸君が国のために、何が出来るかを問うのだ。」と訴えたのは有名です。皆様もよく知っているとは思いますが、彼の数多い演説の中からこの言葉を取り上げたのは、皆様と共に、もう一度この言葉を噛みしめてみたかったからです。つまり、日台医連が私達のために、何をしてくれるかを問うのではなく、私達が日台医連のため何ができるかを問うてみたいのです。

私達会員は、共にこの精神を持って自ら意欲的に、私生活の上でも、診療の場においても、地域住民に台湾のWHO加盟の重要性を、PRしなければならない、と思います。

確かに現在台湾は、国際社会において、厳しい立場に置かれておりますが、最近、東チモールが、インドネシアの統治から分離独立して、自分の国家を創りました。まして、一度も中華人民共和国に統治されたことがなかった台湾が、なぜ中国の一部にならなければならないのでしょうか。東チモールの数十万人の住民が、自分達の願望と、強い意思団結をもって、自分達の国家像を夢に描いたからこそ、夢を実現させる事ができたのです。

台湾に住む人々が『美しい島—フォルモーサ』の国づくりの夢を持ち続けければ、覇権主義の国、中国と闘うことにもなるでしょう。私達は、もっと積極的に国際社会に訴え続けなければなりません。現状維持はイコール滅亡につながります。目先の事(経済、生活及び一時の快樂)ばかりを重視すれば「苟且偷生」最後は死に至ります。数多くのディズニー映画と、ディズニーランドをつくったウォルト・ディズニーは、常に、富や名声より、夢を大切にしていました。If you can dream it, you can do it. 「夢見る事ができるな

らば、それは実現できる」と。

台湾が再び国際舞台へ舞い戻る事は決して夢ではなく、実現は可能と信じています。

古い諺に『天助自助者』とあります。台湾の運命を最終的に決めるのは、台湾に住む 2300 万人の住民なのです。従って、台湾国内からアクションを起こさない限り、諸外国からの支援はありえないと思います。

雑談

東

昌明

前日接到伝真、希望能在新開拓的會員心聲園地上寄一篇軟性的文章、我個人也希望能平静的写些身边有趣的事物、或者最近深感興趣老莊哲学的心得、但是没有辦法抑制心裏頭要衝出來的話。敬請原諒、讓我藉此方塊一吐心聲。

昭和 58 年来日、一恍近 20 年、一切就緒、心有余力自然会想作些事、尤其是对自己的故郷。同年代、世代的個体、雖然各有不同的經、閱歷、背景、但是想 feed back 的基本出发点与最終期待的目標、依個人的想法應該是不会有很大的差距、可是實際上並不然。

团体無論那一類型、理想的模式是接受各方不同的意見、經分析、弁論、融合集結會員們最大的共識、詮釋出团体的目標特徵意即真髓所在、進而向群衆宣示傳達訊息。藉此再吸引招集共鳴支持者共同前進打、以達目標、也滿足個人的欲願須求。当然其中最重要的是共識的問題。共識度愈高此团体的能力、效率也就愈耀眼、定位也更加明朗清皙、這就是關鍵要所。要如何提高团体的共識度、大家都了解、別無其他法門、就是溝通。彼此坦誠相見、毫無遮掩、忌諱的達述個人的想法意見与觀點。

台医連 3 月 21 日創立以來近 9 個月、經 6 次的理事会、理事門很熱心的摸索、探討、就是無法突破瓶頸。台医連是會員全体的团体、全体會員的心聲、意願是不能缺失。目前台医連停滯不前就是困在這關節眼裡。溝通不足、欠缺伝声管道是首要原因。鑑於此、知者能適時開通双向管道、補足缺口、坦白說大家都喘了一口氣。往後成效如何当然不可予知。但是重要的是、知道瓶頸在那裡問題就容易解決。預祝此園地百花盛開、促使台医連早日達到最大公約數、定位更清楚、旗幟更鮮明。

お願い

年度末もう近づいています。2002 年度の会費（¥ 5,000）未納の方はお速めに

お願い致します。振込み用紙同封致します。既に納入済みの方はご容赦下さいませ。

第7回台医人音楽祭後の省思（一）

頌彦

真賢

看了一场戲、聽了一首歌或是一場音樂會後、常會浮現揮不去的情景、旋律。或許這就是古人的“繞梁三日”。這種現象讓我們能再三回味、思索、進而提高經驗的完成度。

完了音樂會、給一年來的準備工作做了一個交代該鬆一口氣時、“餘音”同時也出現了。可還記得高醫大學合唱團唱的由鄭兒玉先生作詞、蕭泰然先生譜曲的“遊子回鄉”這首歌。“看見故鄉的山、感覺才不孤單、我心 ---”（台語）十足台灣味的ひびき、藉著台灣話發音的旋律所唱出來的更讓人たまりません。出演者の傑出表現加上觀衆的熱烈回應、該可達到一心同體的境界。

台醫人音樂祭、以某種角度來看就像一座故鄉的山、看見“故鄉的山” 感覺孤單 ？

青木 久 立川市長殿

鈴木 茂 國際交流フェスタ実行委員長殿

日本台灣醫師連合
會長 重光 茂榮

會員一同

抗 議 書

われわれ日本台灣醫師連合は、日本在住台灣出身醫師及び齒科醫師（約150名）が、日本と台灣の絆を深める為本年3月21日成立した団体です。

本年12月1日立川市の市女性総合センターで予定されていた金美齡氏の講演會が、市在勤中の中国出身者ら十八名の申し入れによって中止された事につき、以下の理由で断固抗議します。

（一）「金氏は台灣獨立の象徴で、講師に呼ぶことは中国人に対する侮辱」などという抗議書を提出したそうですが、それを受け入れたことはわたしたち台灣人に対する侮辱です。われわれ日本台灣醫師連合の會員及び非會員の友達の中で、中国と統一したいと考えている人はおりません。又、現に台灣行政院が12月6日までにまとめた世論調査では、台灣が進むべき方向は「兩岸中台統一」との回答は21.8%しかなく、金氏の考え方は台灣の3分の1から4分の3強の國民に通じるものといえます。金氏の講演を「中国人に対する侮辱」との理由で中止しましたが、それは台灣の國の有り方、國の將來を決定するのは中国人であり、台灣人ではないということ、そして台灣人が中国人に危害を加えるトラブルメーカーであることを皆さんが広くアピール、宣伝した事になります。皆さんが中国人の感情だけを配慮して、台灣人の感情、尊嚴をいとも簡単に踏みこむ理由は何でしょうか？台灣が一体、日本に何をしたというのでしょうか？日台友好を念願している親日台灣國民に対し、どのように説明をされますか？

(二) われわれ台湾出身者が日々地域医療に従事しているのは、偶然な出来事ではなく、日台のさまざまな歴史的経緯の結果でもあります。われわれは日本が好きなのです。それだけに、日本において、国にとって一番大事な「言論の自由」が明かに政治的意図を持つ一部の人によって侵害されることに危惧をせざるをえません。本来、「言論の自由」の奥義にのっとれば、予定されていた講演会を断固守った上で、その会場で異論を提出させ、公開議論をすべくではないでしょうか？日本はアジアのリーダーであり、ノーベル賞受賞者も輩出しているのは自由、民主の根幹である言論の自由を保障してきたからこそです。日台関係を深めたいと考えている本連合は、この中止事件に対し、誠に遺憾に思います。

このような言論の自由を踏みにじる行為を断じて許されません。こらからの日本の将来のためにももう一度言論の自由という事に関して再考していただき、金氏の講演会を復活させるべきです。またそれとあわせて“言論の自由”をテーマとした討論会を早いうちに開催するべくです。

今後の台湾のため、そして日本のために熟慮していただき、国際交流を志すのであれば、今回の講演会中止の件についての明確な回答を頂きたいと希望致します。

2

002 . 12 . 11

(本抗議書は2002年12月12日の日付で立川市の関連部門に郵送で届きました。)

胡蝶夢

我的家在山的那一边、那兒有美麗的家園、 美麗的家園是我家的
那兒有広大的山河、 広大的山河是我家的
那兒有悠久的歴史、 悠久的歴史是我家的
那兒有的都是我家的？ 我的家只有一个？

中国人講中国話、講中国話的是中国人

中国人吃中国菜、吃中国菜的是中国人

中国人住中国、住中国的是中国人

日本人講中国話、講中国話的是日本人

日本人吃中国菜、吃中国菜的是日本人

日本人住中国 住中国的是日本人

台湾人講中国話、講中国話的不可称台湾人

台湾人吃中国菜、吃中国菜的不可称台湾人

台湾人住中国 住中国的不可称台湾人

以力假仁者、称鴨霸

以力服人者、非心服也

以德服人者……夢か？……

胡蝶

お知らせ

☆本会の紹介並びに WHO 加盟促進運動のカラーパンフレート (簡野、中里

両理事制作)が出来ました。友人や待合室に向けと思いますが、興味のある方はどうぞ遠慮なく、事務局長の岡山(048-984-1330)まで。(見本同封致します)

☆1月12日第7回理事会議が予定されています。新年度の理事改選はホットな話題に成りかねない。皆様のご意見を拝聴いたします。

—編後語—

新年おめでとうございます。多くの会員のご寄稿のお蔭で、台医連が初めて迎えた新しい年に素晴らしいご挨拶が出来ました。今後もSimple is richの方程式に則って“お便り”を続けたいと存じます。Simpleというのは、皆さんの気軽で率直なご意見ご感想などを受け賜り、簡潔な形で編集すること。Richはたくさんの表現をお寄せ下されば、自然にdiversity(多様性)を生んで豊になること。どなたでも携わることが出来るように望んでいます。

誠 徵 稿 件

☆拳凡長編、短編、專欄、意見、感想、文句、牢騷、旅遊、詩詞、散文、見聞、

知識、技術、趣聞、趣味、医学、音楽、芸術、新発見、読書心得…等都非常歓迎。

☆文体、言語不拘、文字数多則「分期付款」、少則「一括払い」

☆送り先： Fax：0270－217337

E-mail：yen@tohoku.or.jp

頌彦まで

敬請賜筆